

令和元年度 高大連携高校生防災教育推進事業

「高校生防災セミナー」へ本校生徒が参加しました

高校生防災セミナーとは？

愛知県教育委員会が名古屋大学及び愛知県防災安全局と連携し、高校生を対象に、自然災害に対する知識や技術の習得などによる防災対応能力の向上とともに、災害時には積極的にボランティア活動へ参加しようとする心を育て、学校や地域の防災力向上に貢献できる防災リーダーの育成を図るための事業。

毎年県内の高等学校15校を募り、2か年に渡って参加するもので、今年度で10年目となる。

令和元年度活動報告（7月～8月）

本校からは、建設技術部1年生の4名が5日間のセミナーに参加しました。

本セミナーは名古屋大学減災館を会場に、7月に3回、8月・12月に各1回実施しました。

○講義による学習

（地震や水害についての学習や、過去の災害を教訓とした学習活動などを学ぶ）



○シミュレーション型体験学習

（避難所を運営することの大変さや、東海地方に大規模地震が起こったときの被害状況の想定などを考える）



○減災館の施設を利用した体験学習

(地震による建物内の危険性を利用したシミュレーション学習を行う)



減災館施設体験

○参加校同士の情報交換会

(各校での取組状況や今後取り組みたいことの発表・意見交換をする)



本校発表の様子

セミナーを通じて、災害が起こった際に役に立つものを作製してみることにしました。

令和元年度活動報告 (8月～11月)

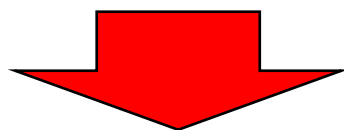
建設技術部内での防災グッズ作成活動 と 活動報告資料 (12月防災フォーラム用) の作成

段ボール・ガムテープ・カッターナイフ・ビニール袋で**簡易トイレ**完成!

- コンセプト①100kg程度の荷重に耐えることができ、使い切りにならないものを製作
②災害後は新品の段ボールは入手できないと思われるので、使用済みの段ボールを利用



※ほかにも汚水を透明にして利用できるようにろ過装置も作り、実践報告しました。



参加校15校のうち、活動報告を行う代表校3校に選出されました。

(「ものづくり活動」が評価されたようです。)

令和元年度活動報告（12月）

発表に向けてのスライド作成、練習

12月25日 防災フォーラム参加（今年度最後の防災セミナー）

防災フォーラム内容

○代表校発表及びグループに分かれて各学校との意見交換会

○来年度の活動に対して、市の防災担当者及び防災ボランティアの方からの指導・助言



150名くらいの前での発表は緊張しましたが、リハーサルどおりにできました。

次年度に向けてのアドバイスはとても参考になりました。

防災セミナーに参加して（まとめ）

災害時のボランティアでは「何ができるか」悩むより、「何でもやっていこう」の気持ちで取り組んでほしいそうです。被災者は少しでも早い復興を願っているので、たとえ1つでも助けてくれば、本当にありがたいとのことでした。

1年間のセミナーの中で講師と話しをしている時に、「高校生のうちに正しい知識といざというときの行動を学んでほしい」「高校生という若さからの行動力とエネルギーに期待している」など、「高校生」へ大きな期待をさせていただいてるんだと感じました。

次年度に向けて、本校生徒に対してアンケートを実施し、どの程度防災に対する意識があるかチェックしたり、ハザードマップを作成したりして学校全体の防災意識を高めていきたいです。